

 評価のポイント

CL-2.看護実践能力：ニーズをとらえる力

[14-2] 消化器系の障害とフィジカルアセスメントとケア

1. 代表的な消化器疾患として胃・食道逆流症と胃潰瘍の症状の違いを説明してください。

胃内容物の食道への逆流により不快な症状や合併症を起こしている状態がGERDであり、胃・十二指腸潰瘍は胃粘膜は胃酸とペプシンの消化作用により胃粘膜下層まで組織欠損が生じた状態である。胃・十二指腸潰瘍がより重症な疾患で重症例では出血や穿孔、穿通、狭窄をきたす。

2. 膵炎と胆嚢炎の症状の違いを説明してください。

膵炎は心窩部痛からはじまる腹痛が多く、腹痛は腹部全体に広がり、背部痛や嘔吐を伴う。

胆嚢炎（急性）は発熱を伴う右上腹部の痙痛発作や悪心、嘔吐が症状として多い。右肋骨弓下にマーフィー徴候（Murphy徴候）を認めれば急性胆嚢炎の可能性が高い。

3. 急性虫垂炎が疑われる患者に対し実施する診察と検査、治療や看護ケアについて説明してください。

問診、視診、聴診、打診、触診が主に行われ、触診ではマックバーニ ランツ モンロー キュンメル各圧痛点を確認する。それに加え、ロブリングサインを確認する。採血検査では白血球数やCRPを確認し、炎症所見の有無を判断する。治療は外科的治療と内科的治療があり、近年内科的治療が第一選択となり、外科的治療は腹腔鏡下虫垂切除が主流。看護としては確実な内科的治療のサポートと症状悪化の早期発見、緊急手術の準備、痛みのマネジメントが上げられる。